

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発 生 日

発生 令和5年12月22日(金) 速報 令和5年12月28日(木)

2 患 者 数

1名 (男、小学生)

3 概 要

(1)経 過

- 12月22日(金) 患者(備前保健所東備支所管内)は、発熱及び腹痛の症状を呈したため、備前保健所東備支所管内医療機関(診療所)を受診。
- 12月25日(月) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(病院)を受診し、同日入院。
- 12月27日(水) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

- ・患者は入院中だが、症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参 考(患者発生状況)

区 分	令和5年1月1日から
岡 山 市	37 人
県内(岡山市を除く。)	67 人
県 内 合 計	104 人

(岡山市の前年同時期の発生状況:22人)

- ◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。
- ◎岡山県は6月23日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。
- ※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために
- 手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)
 - 十分な加熱。(75℃で1分間以上)
- をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 森・山本 直通086-803-1251 内線5751